伯友

No.78 2021

·HAKUYUKAI·HAKUYUKAI·HAKUYUKA

会　長　挨　拶

「襟を正そう」

伯友会会長
31期 **藤 本 久 俊**

年明け以降のコロナ第3波。大変な数の方々がり患し、重症化され、あるいはお亡くなりになりました。これだけの数になりますと、伯友会関係者やその周辺の方々にも累が及んでいないかと心配しております。ご自身ないし近親が罹患された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて。六甲学院では、この1年、体育祭、競歩大会は中止となりました。海、山のキャンプも中止で、中間体操やトイレ掃除は中断されたままです。形の面での六甲らしさは、少なくとも今年は失われてしまいました。

そのような中、2月6日、78期生の卒業式がおごそかに行われました。在校生、音楽部は参加せず、校歌はテープ演奏でしたが、158名の卒業生は、皆しっかりと式に臨んでいました。在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞も立派でした。トイレ掃除や中間体操がなくとも、六甲の教育は、生徒1人1人の心に深く届いていると感じた次第です。

伯友会活動ですが、今年度は、総会も懇親会も開催することができませんでした。幹事会、常任幹事会も、リモート開催が中心です。

そのような中、事業委員会の諸兄と20期宇都宮・23期湯川の両先輩が中心となり、伯友会の歴史を残す活動が進められています。その成果がHPには、校誌「六甲」の1号（1945年発刊）から56号（2006年発刊）などが掲載されていますので、ご高覧いただければ幸甚です。

ところで。世間では、総務省高官の接待問題が耳目を集めています。また、コロナ保障の不正取得問題も多数報道されています。

最近は、「熱い心」の貴重さ、それを活かす「冷たい頭」の必要性は語られるようになってきました。しかし、それだけでは足りないようです。為政者は、「清い手」を持って、初めて市民の信頼を得ることができるのだと思います。また、苦しくとも、真正面からことに当たらなければ、誇りをもって人生を全うすることはできないと感じざるをえません。

我々は、六甲で、「まっすぐに生きろ」、「視野を大きく持て」、「ズルはするな」と教えられてきました。コロナでしんどい世の中ですが、こんな時こそ、襟を正し、誇りをもって生きてまいりましょう。そして、しんどいときは、助け合ってまいりましょう。伯友会が、誇り高い集団であり続けること、そしてまた、本音を語り合い、互いを助け合う集団であり続けることを願わずにいられません。

総会は、今年もリアルで開催できるか微妙です。しかし、53期の諸君は、時期を秋にずらしてでも開催する、少なくともリモートでは開催すると、強い決意で準備を進めています。

懇親会では、関本さん（52期。緩和ケア医）が、余命2年の肺がんと宣告され、それでも淡々とお仕事を続けておられる経緯、宣告された故に余命少ない患者の方々と心を通じ合えたご経験などをお話しくださいます。

総会、懇親会がどのような形で開催されるか、確定情報をお伝えすることはできませんが、どんな方法となっても、また、時期がいつになっても、臨機応変にご対応いただき、多数のご参加を賜りますことを心よりお願い申し上げます。会場で、ないしは画面でお目にかかれますことを楽しみにしております。

2021年度六甲伯友会総会招集告知

右の要領で2021年度六甲伯友会総会の開催を予定しています。

しかしながら現在、新型コロナウィルス感染症による影響が予断を許さない状況になっています。2021年度総会・懇親会につきましては、現時点では開催予定ですが、事態の今後の推移により、総会の延期・懇親会の中止も考えられます。中止の場合は、4月初旬に伯友会ホームページ上に掲載するとともに、参加申込者にご連絡いたします。

六甲伯友会 会長　藤本久俊

開催日　2021年4月24日（土曜日）
開　会　午後3時（受付は午後2時半から）
場　所　神戸ポートピアホテル
主な議題
- 2020年度事業報告
- 2020年度決算報告
- 2021年度事業計画
- 2021年度予算
- その他

この度、六甲学院の校長が古泉先生から髙橋先生にバトンタッチされることとなりました。
お二人よりご挨拶を頂いております。

第 9 代校長
古 泉　　肇

松浦明生前校長の後を受けて私が校長に就任したのは 2015 年 4 月でした。早いもので、あれから 6 年が過ぎました。この度私は 3 月を持って校長職を退き、代わって 4 月から高橋純雄先生が第 10 代校長に就任いたします。私の在職中は伯友会の会員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。特に六甲学院創立 75 周年記念事業である新校舎建設に際し会員の皆様には多大なる援助を賜り感謝申し上げます。

すべてのことには「時」がある。これは聖書にある言葉です。また、初代校長武宮先生は「偶然というものはない。」と言われていました。旧校舎は戦前日本で最後に建てられた鉄筋コンクリート造りの建物と言われています。鉄材を調達できるギリギリの「時」に旧校舎は作られたのです。新校舎も東日本大震災・東京オリンピックによる建築資材の高騰や建設作業員の人手不足の影響を最小限に食い止めることができる「時」に建設することが出来ました。私は学校創立 1 年目、学校に与えられた試練であった神戸大水害という「時」が 75 年後の新校舎建設の「時」につながっているのだと実感しています。その意味で新校舎はこれまでの卒業生の皆さんが創り育てて下さった六甲精神という堅固な土台の上に建てられていると言えるのではないでしょうか。高橋新校長のもとで、六甲教育がさらに飛躍できるよう伯友会の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。旧校舎解体に際し学校内に散在しておりましたアーカイブス資料を、伯友会で整理していただいています。実は生徒時代を含めると私は 50 年間学校に通っていたことになります。校長としての武宮先生は知りませんがそれでも初代から現在までのすべての校長と関わっています。そして 50 年間六甲教育の「現場」に居合わすことが出来ました。六甲は私の人生そのものです。そこで六甲精神とはなにか、もちろんいまだ完成しているものではなく完成に向かって成長し続けているものですが、読みやすい本にしてみたいと考え現在制作中です。ささやかな皆様への恩返しになれば幸いです。

最後になりましたが、伯友会の皆様本当にお世話になりました。有難うございました。

皆様のこれからの働きの上に神様の祝福が豊かにありますように。

第 10 代校長
髙 橋 純 雄

2021 年 4 月より六甲学院中学校・高等学校の校長に就任することになりました。宜しくお願い致します。

1984 年に上智大学を卒業し、46 期が中 2 の時に赴任、国語科と宗教科（人間論）を担当してきました。担任としては、51 期・58 期・66 期、今春卒業した 78 期を受け持ちました。

新任 1 年目の最初の研修会で、当時の外川校長から、六甲精神は言葉にならない深淵なもので、生徒も教師も共に一生を懸けてその精神が何なのかを問い探究するのが六甲だ、という話を伺いました。今になれば「その通り!」と思うのですが、若かったその時には、生徒にも教師にも理解し難く言葉で伝えられない何かのために、自分は一生を費やしていいのだろうか？教師人生が終わる時に、真理が結局わからないままで虚しさを味わうことにならないだろうか？と不安な思いになったのを覚えています。研修会で、学校にとって一番大切な精神をわからないままで、その学校の教師になることの不安をそのまま伝えると、研修会後にディアス神父様から、「六甲精神はキリスト教精神に置き換えて考えたらいいんだよ」と言われて、何だかほっとしたのを覚えています。ディアス先生のその一言がなかったら、私は六甲の教師として居続けられなかったかもしれません。それ以後は、六甲教育についてよくわからなくなると、イエズス会教育・カトリック教育・キリスト教教育に置き換えながら、理解することを試みるようにしています。端的に言えば、イエスの弟子（disciple）となり、イエスの生き方を身に纏うための教育（訓育・修練—discipline）です。

といっても、六甲には六甲らしさを醸し出す独自の教育があります。確かに言葉にはしにくい精神が脈々と流れていて、六甲教育を生徒として体験した人たちに受け継がれています。現代社会の風潮の中で風化・形骸化する恐れもあるので、それ自体を言語化できないことは承知しつつ、六甲精神を生きる人間になるための指針として言語化を試みたのが「六甲生のプロフアイル」と「ミッションステートメント」です。ただ、私は六甲精神を端的に指し示すのは、六甲の卒業生その人自身だと思っています。六甲の卒業生が、混乱し分裂し困窮し、不信と不条理の渦巻く現代にあって、社会に希望や指針を与えることで、その精神の生きた証となっていることを、生徒たちに示し続けて頂ければと願っています。

六甲教育が現代の子どもたちの心にも根づくものとして、その本質を受け継ぎながら刷新されますように、伯友会の方々のご支援とご協力を、これからも宜しくお願い致します。

伯友会副会長の 43 期山本裕計氏が昨年コロナウイルスに感染されました。体験記をお願いしたところ、快く引き受けて頂きました。今回はその抜粋記事を掲載致します。

COVID-19 とうまく付き合う方法

43期 山本裕計

1. はじめに

マスコミでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関し、不安をあおる報道が多く、社会に悪い影響が出ないか心配です。そこで罹患した私の経験をお伝えする事で、皆さんの参考になればと思い寄稿しました。

2. 新型コロナウイルス感染症ではどんな症状が出たのか？

2020 年 12 月のある日、私は喉の違和感を覚えてかかりつけの医院に行きました。私は最初「持病の扁桃腺炎の症状だな」と考えていました。が、症状が改善せず、その後呼吸困難の症状になっていきました。「発熱」「味覚異常」「嗅覚異常」は無く、コロナ感染を疑いませんでした。最初の診察から 10 日余り、五十肩で整形外科へ行った時に、近所の内科を紹介され、レントゲンを撮ったところ、「新型コロナウイルス感染症の疑いがある」と言われました。その日の午後の神戸労災病院での検査予約を取ってもらい、一旦帰宅しました。この時は「公共交通機関を使わないように」との指示がありましたが、家人は車を運転しないので、自分で運転して帰宅、検査へも自分で車を運転しました。

3. 検査はどうやって受けるのか？

労災病院での検査内容は、鼻に綿棒の様なものを入れる PCR 検査と採血と CT もしました。1 時間後、血液検査の抗原検査の結果が陽性、PCR 検査も陽性、胸の CT にも肺炎の症状があるとのこと。ただ、私と同時期に感染した人は、PCR 検査は陰性でしたが血液検査で罹患が判明。「PCR 検査は確実ではない」ことに注意が必要です。検査現場は、若い医師が多く、これは、コロナの特性上、「若い人は重症化しにくい」とされているからかもしれませんね。

4. 保健所の調査について

陽性判定後、いったん帰宅すると、保健所から連絡がありました。最初に喉の違和感で医院に行った日を発症日と認定され、発症の 1 週間前から今日までの行動や会った人を細かく聞かれました。まず会社のコロナ対策を聞かれました。在宅勤務・パーティションの有無やマスクをして仕事をしているかなどです。職場に調査に来たのは、2 日後でした。緊急性は無かったのでしょう。

発症日の前日の会食の参加者が、6 人中 5 人陽性だったので、そこでコロナウイルスの感染が広がったのは間違いなさそうです。潜伏期間がある病気なので感染経路の断言はできません。私の場合も、「感染経路不明」なんです。その数の報道にも目くじらを立てる必要はありません。食事を一緒にしたとしても、「会話の際にはマスクを着ける」「短時間で食事を済ませる」など、感染への注意を払えば感染は広がっていませんでした。しかし、夜の会食ではお酒が進むと当初は意識していても段々と注意力も下るものです。同居する家族は、私の発症日の 2 日後に検査を行い 2 人とも陽性でした。職場での調査では、私の机の近くに座っている 2 名の社員が検査をしましたが陰性。昼食をご一緒した濃厚接触の疑いのある 3 名には保健所から連絡が行ったようですが、濃厚接触と認定はされず、しばらく経ってからの健康状態も症状もなくお元気とのことでした。

発症日の 3 日前	会合に参加し昼食をとる	濃厚接触と判定されず
〃	客先の会議室でマスク着用の上 5〜6 人で会議	濃厚接触と判定されず
発症日の前日	東京出張。夜に 6 人でレストランにて、3 時間ほど会食	参加者の内 5 人が陽性
発症日の翌日	セミナーに参加。2 名と室内で弁当を食べる	検査不要と判断
発症日の 2 日後	自社会議室でマスク着用の上 5 人で 2 時間会議	濃厚接触と判定されず
〃	同僚と 2 人で定食屋にて昼食	検査不要と判断
発症日の 4 日後	会社に来ていた学生と昼食にラーメン屋に行く	濃厚接触と判定されず

5. 入院について

陽性が判明した翌朝に保健所から車で迎えに来てくださり、病院へ。病院では、他の患者さんとは触れ合わないように個室が与えられ、1 歩も出ないように指示が。医師が病室に来るのも 4 日間の入院期間中に 2 回程度でした。会話は全てナースコール越し。看護師は 1 日 3 回の配膳、病院着の交換、病室の掃除、飲み物の買い物など医療以外のことまで行っていたのは、「医療リソース」の節約の必要を感じました。入院中は、病室から出なければ何をしても良いのです。そのため持参したパソコンで仕事をして、リモート会議にも参加したりしました。

6. 入院したらどんな治療をされるのか？

コロナの治療薬は、私が入院した時は、うがい薬と、トローチ、熱が出た時の頓服薬だけでした。入院時私は、心電図を図るセンサーと酸素飽和度を測る装置を、入浴時以外は 24 時間身に着けていました。

7. 退院の条件は

数か月前は「PCR 検査が 2 日連続陰性」、「症状軽快後 72 時間」、「発症後 10 日間」という 3 つの基準をクリアする必要があったようです。しかし私の場合には、軽快後スグに退院が決まり、4 泊 5 日で退院。退院時には検査もありませんでした。私の場合は、熱が出ず、酸素飽和度が指標になりました。苦しかった頃 90 前後だった酸素飽和度が、入院後の 4 日目は 97〜8 位に改善。5 日目の朝にナースコール越しに主治医と簡単な会話の後、「今日 11 時に退院してもらいます」と言われ、慌てて家に連絡を入れました。入院費用は国費なので、お金を払うこともなく退院。退院時は、「バスで帰られますか、タクシーで帰られますか？」と聞かれるほどで、発症後 10 日以上経っていれば人にはうつさないので、公共交通機関を使っても良いそうです。

8. 後遺症について

退院後は、呼吸がちょっと詰まる感じや声がかれたりしましたが、後遺症もなく健康に過ごしております。初詣を兼ねて標高 180m の保久良神社に登りましたが、肺炎のダメージもありませんでした。

9. コロナウイルスの感染者が出た時に会社が取るべき行動は？

会社では PCR 検査を自費で受けに行ったり、アルバイトが帰らされたりとかの過剰な反応が見受けられました。まずは、保健所の調査が来るのを待つべきです。保健所の判断としては、机の前や横にパーティションを立てたりマスクを着用したりしていれば、濃厚接触ではありません。指示がないのに、慌てて過剰な対策や反応をしたりする必要はありません。

10. 感染したことを公表すべきかどうか？

私は感染を公表・報告しました。しかし、SNS を使って不特定な人達に告知したり、聞かれてもいない人に知らせたりはしていません。スケジュールの変更をお願いする時などに、コロナに感染していることを含め事情を説明しました。いたずらに不安を煽らないためにも「公表をするのは正しい判断だった」と思います。今回の寄稿を通して、こうした正しい知識に触れ、感染なさった方や濃厚接触者と認定された方への理解が進むと嬉しいと思っています。

委員会だより

■会員委員会

2020 年度発行の会員名簿ですが、当初の計画通り昨年 11 月に発送することができました。前回ご報告の通り、今回より株式会社サラトへ名簿発行の業務委託を行い、仮に名簿が一冊も売れなくても伯友会からの費用負担が一切発生せず、かつ名簿販売収入や広告収入等が一定以上あった場合、所定の金額がサラトより伯友会に還元される契約を結びました。その結果、184 万 1,000 円の還元金が 1 月 27 日付でサラトより伯友会へ入金されました。465 件もの賛助金お申し込みがあったことと、予想以上の協賛広告へのお申込みがあったことがその要因です。多大なご協力を頂き、誠にありがとうございました。次回の名簿発行は 5 年後になる見込みです。まだ先の話になりますが、今回の反省を踏まえより精度の高い会員名簿を発行したいと考えておりますので、その際には何卒ご協力お願いします。

■情報委員会

伯友会独自の Zoom アカウントを取得しました。今後、伯友会関係のオンライン会合で活用します。

■情報委員会

2020 年 12 月 20 日、JJHAF（4 校交流会）をオンラインで実施され、藤本会長がご出席されました。

会員の皆様へ

■会誌「伯友」秋号の発送について

「伯友」秋号は、第 77 号より、会費納入者で秋号の送付を希望する会員のみにお送りしております。新たに送付を希望される方は、事務局迄ご連絡下さい。

■会費納入のお願い

会員には会費の納入義務があります。会費は伯友会にとって重要な収入であり、伯友会運営にとって貴重な財源です。未納の方は是非とも納入して下さい。

通常は宛名シールの右下に期・番号・会費納入状況を記載していますが、今回は都合により、会費納入状況が印字できていない学年があります。会費納入状況をお知りになりたい場合や振込用紙が必要な場合は、事務局までご連絡下さい。

年 会 費：伯友会年会費は 3,000 円です。会費未納期間が 3 年以上ある場合は、2 年前に遡り本年度分を含めて 3 年分納入いただきます。

終身会費：終身会費は 45,000 円です。既に半数の会員が終身会員になっています。終身会員になると年会費の納入の必要がなく、毎年会費を納入する煩わしさもなくなります。また、過去の未払いの年会費を遡って徴収することもありませんので、終身会員になられることをお勧めしています。なお、今年度以降の会費を納入済みの方にはその分を 45,000 円から差し引かせていただきますのでお問い合わせ下さい。

■伯友基金について

伯友基金は、六甲学院の教育活動と社会奉仕活動のために使用する目的で、1993 年に設立された基金です。これまでも学校の求めに応じて、さまざまな設備の充実に寄与してきましたが、本年は高 1 の 4 教室にプロジェクターを設置する費用の一部として、180 万円を支出いたしました。この結果、本年度末時点での基金残高が 118 万円余となり、今後の運営を円滑に進めるためには増資の必要があると考えております。母校への支援を継続していくため、あらためて会員の皆さんのご協力を仰ぎたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度のご協力者は（敬称略）

1 期千古　進、21 期山家健盛、40 期谷本裕志、54 期小野田素大、匿名 1 名。計 5 名 83,500 円でした。

ご協力頂きまして、ありがとうございます。

■伯友奨学基金にご協力を

六甲学院からの要請を受けて設立された「伯友奨学基金」への皆様からのご寄付は、総額 8,629,692 円（220 件）となり、その中から年間 460,800 円を学校の求めに応じて 5 回協力させていただきました。今年度は新たに 838,000 円（16 件）のご寄付を頂きました。ありがとうございます。

今年度のご協力者一覧（敬称略）

旧教職員 平井一嘉

1 期 千古　進、15 期 五代友和、佐分利孝、田嶋紀雄

16 期 北村　豊、17 期 大村忠正、24 期 加藤孝雄、27 期 濱田誠剛

38 期 柴田　勝、田渕信也、54 期小野田素大

匿名 4 名

伯友会会費の納入は

●三井住友銀行六甲支店（421）
　口座番号（普通）1103520　　口座名　六甲伯友会

●郵便振替
　口座番号 01110 − 8 − 73016　口座名　六甲伯友会

伯友基金への振込は

●三井住友銀行六甲支店（421）
　口座番号（普通）3692900　　口座名　伯友基金

伯友奨学基金への振込は

●三井住友銀行六甲支店（421）
　口座番号（普通）4513835　　口座名　六甲伯友会奨学金

※ご入金の際には事前に期・名前を事務局までお知らせください。
※寄付者のお名前は会誌の春号に掲載されます。匿名希望のかたは併せてお知らせください。

■伯友会事務局からのお知らせ

伯友会事務局執務時間は年末年始とお盆の頃を除いて原則的に月・水・金曜日の P.M.1：00 〜 P.M.5：00 迄です。ご用件の内容によっては、即答出来ない場合もありますが、必ず調べた上お答え致しますので、ご遠慮なくご連絡下さい。

伯友 78 号
発行日　2021 年 3 月 15 日
発行人　藤本久俊
編　集　広報委員会
印　刷　㈱学術出版印刷
校　正　久井千岳

伯友会事務局　〒 657-0068
神戸市灘区篠原北町 1 丁目 8 番 25 号
六甲学院生徒研修所内
TEL.078-861-6588　FAX.078-861-6573
E-mail　office@hakuyu.jp